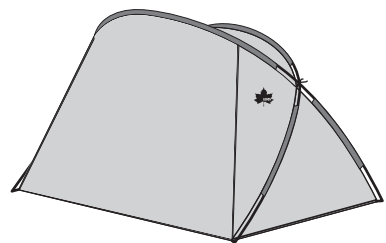


設営・取扱説明書

当設営・取扱説明書、製品に縫製されているケアラベル、パッケージ上に記載されている注意事項をよくお読みください。



部品構成表 ()は素材

フライシート×1 (ポリエステル)	フレーム×2 (グラスファイバー) (8節)	ペグ×4 (スチール)
----------------------	------------------------------	----------------

設営方法

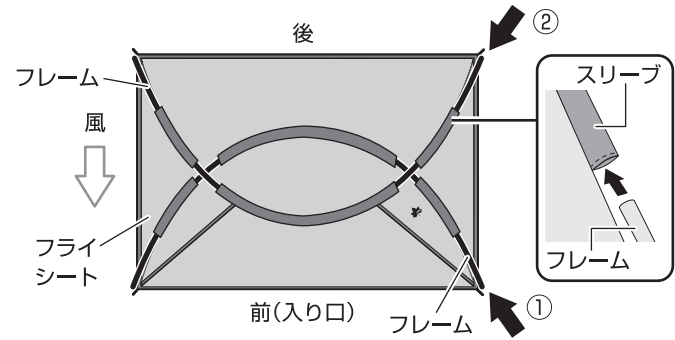
- 設営は2人以上で行ってください。
- 風向き、日当たり、水はけなどを考慮して設営位置を決めてください。

1 フライシートを広げて、フレームをスリーブに押し込む

- すべてのフレームを連結して組み立てる。

Point

- 入り口が風下になるようにしてください。
- フレームは、引っ張ると連結部が外れるため、必ず押してください。



2 フレーム先端にリングピン(側面)を差し込んで、フライシートを持ち上げる

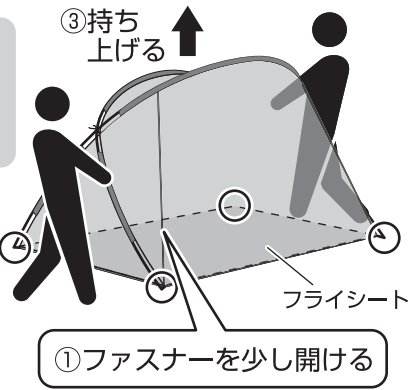
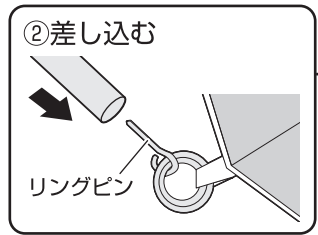
- 入り口のファスナーを少し開けてから持ち上げる。

Point

- 必ず両側から2人で持ち上げてください。(フレームに不必要な力がかかると折れることがあります)
- 風が強いときは、風上側をペグで軽く固定すると設営しやすくなります。

注意

- ファスナーを完全に閉じたまま無理に持ち上げない。(中に空気が入らず、フレームが折れるおそれ)



注意

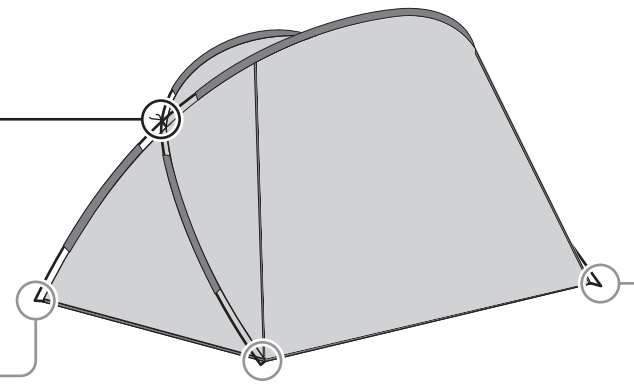
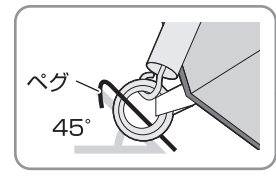
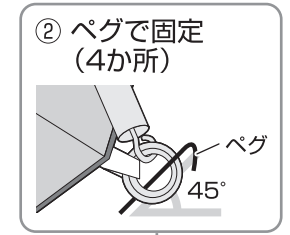
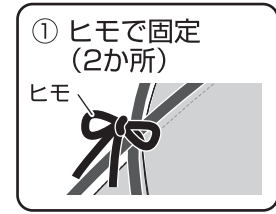
- 設営は2人以上で行う。(1人で行うと生地やフレームに不必要な力がかかり、破損やけがなどのおそれ)
- 水辺には設営しない。(急な水かさの増量により、重大な事故のおそれ)
- ペグで地面に固定する。(テント・タープが風で飛ばされ、けがのおそれ)

上手な
使いかた

- 内側がコーティングされているため、水に濡らしたり、直射日光が当たったりしないようにしてください。
- お手入れ時、ベンジンやシンナーは使用しないでください。

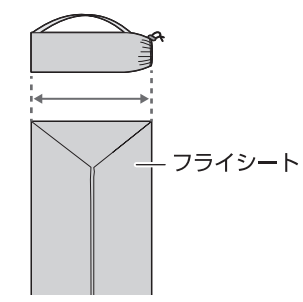
3 フレームの交差部をヒモで固定し、ペグで地面に固定する

- ペグは4か所打ち込む。

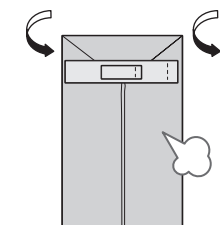


収納のPoint

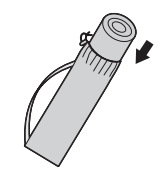
① 収納バッグの幅に合わせてフライシートを折る



② フレームとペグをそれぞれの収納袋に入れたものを置き、空気を抜きながら巻き込む



③ 収納バッグに入れる



収納前に完全に乾かしてください。

- 廃棄は、お住まいの地域のごみ分別方法にしたがってください。
- 製品の仕様は予告なく変更する場合があります。